京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM
「『生きる』教育」プロジェクト

単元「10 歳のハローワーク」 の概要

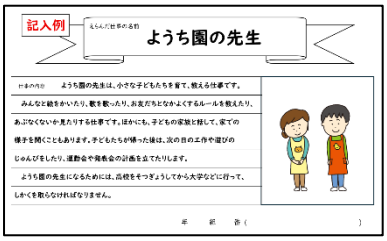
「『生きる』教育」とは

「『生きる』教育」とは、子どもたちが直面する「人生の困難」を解決するために必要な知識を身に付けるとともに、友だちとの真剣な話し合いを通じて自分と相手を大切にする価値観を形づくっていくプログラムです。子どもたちにとって一番身近であり、心の傷に直結しやすいテーマをも授業の舞台にのせ、社会問題として捉えなおすとともに、授業の力で子どもたち相互にエンパワメントを生み出し、個のレジリエンスへつなげることをめざしています。

単元「10 歳のハローワーク」について

単元「10 歳のハローワーク」（小学校4年対象）では、キャリア教育を切り口に、今の自分自身を見つめなおし、明るい将来設計ができるようなワークに取り組みます。将来の夢について具体的に考えられるよう、社会にはどのような仕事があるのか、どのような職業があるのかの知識を身につけます。次に、履歴書ワークを通して、自分自身を言葉で表現する力を養い、面接ワークをしながら、自己理解や他者理解を進めます。そのうえで、未来を見通し、自分に必要な力を考えます。そうして「未来」を描き、様々なワークで楽しく「今」と向き合うことで、安心して自己開示できる環境を整えたうえで、「過去」を振り返ります。思春期の入り口に立ち、子どもたちの心が揺れ始める時期に行い、「今」を受け止め、「過去」に寄り添い、「未来」を真剣に考えてくれる人たちに出会いながら、健全なアイデンティティの構築を目指す点で、「『生きる』教育」の理念を体現した単元だと言えるでしょう。

※本サイトで紹介している教材・教具は、大阪市立田島南小学校の先生方の実践に基づきつつ、様々な学校で実践しやすい普及版として作成しております。
※実践の詳しい進め方については、小野太恵子・木村幹彦・塩見貴志編著『「『生きる』教育」――自己肯定感を育み、自己と相手を大切にする方法を学ぶ』（日本標準、2022 年）、及び今垣清彦・小野太恵子・別所美佐子・田中梓編『「『生きる』教育」全学習指導案集――「安心・安全・愛情」を保障する 9 年間の教育プログラム』（日本標準、2024 年）もご参照ください。



「どんな職業があるのかしらべてみよう」（第1時）

単元の構成（例）

	授業のおおまかな内容
第１次	１つの商品が手元に届くまでの過程を想像したり、図書室の本やインターネットを活用した職業調べをしたりして、将来、就きたいと思う仕事についての知識を身につけます。そのうえで、履歴書を書いたり、面接をしたりする中で、自分自身を表現する言葉も身につけます。
第２次	希望の職業に就くために 10 歳以降の人生をどのように進んでいけばよいのかを「未来予想図」として作成し、理想の将来像への具体的な道順を把握します。そのうえで、現在の自分自身に向き合い、描いた将来像に近づくために、今の自分に必要な力を考えます。
第３次	現在の自分に関することを整理したうえで、これまで人生に関わった人との対話を大切にしながら、過去 10 年間の自分についての情報を集めます。その内容を「自分史」としてまとめ、過去の記憶を整理し、10 年後の自分へのメッセージとして未来につなぎます。



「『ほしい力オークション』カード」（第2時）

単元の指導にあたって準備する教材・教具のリスト

使用する授業	種類	必要枚数など
第1次	1-1.「チョコレートクッキーが手に入るまで」	各班に１枚
	1-2. 職業調べプリント	各児童に１枚
	2−1. 履歴書ワークシート	各児童に1枚
	2−2. メッセージ記入用ふせん	各児童に１枚（面接ごと）
第2次	3-1. 未来予想図シート	各児童に１枚
	4-1. ガベル（木槌）	教師用1セット
	4-2. ほしい力カード	各サイズ１セット
	4-3. オークションワークシート	各児童に１枚
	4-4. チップ	各児童に10枚
	4-5. 振り返りシート	各児童に１枚
第3次	5-1. 10 歳のわたしシート	各児童に１枚
	5-2-1. 自分史作成シート	各児童に１枚
	5-2-2. 自分史作成メモ	各児童に１枚
	6-1. 10 年後の自分への手紙	各児童に１枚

※本教材・教具は、京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センターE.FORUM が、SMBC京大スタジオにおける共同事業「貧困・格差・虐待の連鎖を乗り越える教育アプローチの研究開発と普及」（通称: 「『生きる』教育」プロジェクト）の一環として作成いたしました。作成は、下記の者が担当いたしました。

田野茜、飯塚喜久乃、多田理紗子、田原聡美、奥村旅人、山本尚毅、西岡加名恵

※本教材・教具に関するお問い合わせは下記までお願いします。

京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター E.FORUM
「『生きる』教育」プロジェクト事務局
E-mail e-forum.ikiru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp